

# 貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現 金	40,948,549	51,635,571	-10,687,022
未 収 金	396,208	272,037	124,171
前 払 費 用 品	576,505	1,177,692	-601,187
貯 藏	13,840	18,801	-4,961
流動資産合計	41,935,102	53,104,101	-11,168,999
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普 通 金	937,247	1,505,829	-568,582
定 期 金	200,000,000	0	200,000,000
投 資 有 債 証 券	1,799,062,753	1,998,494,171	-199,431,418
基本財産合計	2,000,000,000	2,000,000,000	0
(2) 特定資産			
建 物	924,257,991	942,932,205	-18,674,214
助 成 金	130,000,000	120,000,000	10,000,000
運 営 金	115,000,000	115,000,000	0
特定資産合計	1,169,257,991	1,177,932,205	-8,674,214
(3) その他固定資産			
機 械 装 置	804,001	804,001	0
什 器 備 品	364,993	364,993	0
ソ フ ト ウ エ ア	2	2	0
電 話 加 入 権	601,328	601,328	0
保 証 金	20,000	20,000	0
長 期 前 払 費 用	0	576,505	-576,505
その他固定資産合計	1,790,324	2,366,829	-576,505
固定資産合計	3,171,048,315	3,180,299,034	-9,250,719
資産合計	3,212,983,417	3,233,403,135	-20,419,718
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未 払 金	0	275,133	-275,133
預 金	200,251	258,817	-58,566
流動負債合計	200,251	533,950	-333,699
負債合計	200,251	533,950	-333,699
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
正味財産合計	3,212,783,166	3,232,869,185	-20,086,019
負債及び正味財産合計	3,212,783,166	3,232,869,185	-20,086,019
	3,212,983,417	3,233,403,135	-20,419,718

# 貸借対照表内訳表

2025年 3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	合 計
<b>I 資産の部</b>				
1. 流動資産				
現 金 預 金	12,240,723	22,950,595	5,757,231	40,948,549
未 収 金	157,445	92,506	146,257	396,208
前 払 費 用	360,316	144,126	72,063	576,505
貯 藏 品	8,154	3,424	2,262	13,840
流動資産合計	12,766,638	23,190,651	5,977,813	41,935,102
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
普 通 預 金	0	0	937,247	937,247
定 期 預 金	0	0	200,000,000	200,000,000
投 資 有 債 証 券	1,200,000,000	0	599,062,753	1,799,062,753
基本財産合計	1,200,000,000	0	800,000,000	2,000,000,000
(2) 特定資産				
建 物	573,950,792	235,517,030	114,790,169	924,257,991
助 成 基 金	130,000,000	0	0	130,000,000
運 営 基 金	0	0	115,000,000	115,000,000
特定資産合計	703,950,792	235,517,030	229,790,169	1,169,257,991
(3) その他固定資産				
機 械 装 置	321,601	401,992	80,408	804,001
什 器 備 品	182,485	146,003	36,505	364,993
ソ フ ト ウ ェ ア	2	0	0	2
電 話 加 入 権	300,664	240,532	60,132	601,328
保 証 金	0	0	20,000	20,000
その他固定資産合計	804,752	788,527	197,045	1,790,324
固定資産合計	1,904,755,544	236,305,557	1,029,987,214	3,171,048,315
資産合計	1,917,522,182	259,496,208	1,035,965,027	3,212,983,417
<b>II 負債の部</b>				
1. 流動負債				
預 金	73,167	39,512	87,572	200,251
流動負債合計	73,167	39,512	87,572	200,251
負債合計	73,167	39,512	87,572	200,251
<b>III 正味財産の部</b>				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	0
2. 一般正味財産				
正味財産合計	1,917,449,015	259,456,696	1,035,877,455	3,212,783,166
負債及び正味財産合計	1,917,522,182	259,496,208	1,035,965,027	3,212,983,417

# 正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基 本 財 産 運 用 益	18,672,262	18,501,948	170,314
基 本 財 産 受 取 利 息	18,672,262	18,501,948	170,314
特 定 資 産 運 用 益	806,234	730,129	76,105
助 成 基 金 受 取 利 息	727,125	727,323	-198
運 営 基 金 受 取 利 息	79,109	2,806	76,303
事 業 収 益	25,258,933	29,978,891	-4,719,958
貸 事 務 所 ・ 住 戸 受 取 賃 貸 料	6,432,095	12,105,208	-5,673,113
駐 車 場 受 取 賃 貸 料	15,817,100	14,878,700	938,400
そ の 他 施 設 受 取 賃 貸 料	3,009,738	2,994,983	14,755
受 取 補 助 金	2,647,648	4,782,037	-2,134,389
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	2,647,648	4,782,037	-2,134,389
受 取 返 納 金	3,228,483	3,255,174	-26,691
受 取 大 学 支 援 事 業 返 納 金	3,228,483	3,255,174	-26,691
雜 収 益	2,197,235	1,883,443	313,792
雜 収 益	2,197,235	1,883,443	313,792
経常収益計	52,810,795	59,131,622	-6,320,827
(2) 経常費用			
事 業 費	61,728,644	104,868,044	-43,139,400
教 育 研 究 活 動 支 援 金	2,100,000	22,500,000	-20,400,000
国 際 交 流 活 動 支 援 金	5,360,000	10,060,000	-4,700,000
学 術 研 究 成 果 の 普 及 支 援 金	0	0	0
ア ワ 一 ド 支 援 金	1,140,000	1,140,000	0
新 産 業 創 出 支 援 金	1,200,000	2,000,000	-800,000
給 料 手 当	6,982,177	8,787,609	-1,805,432
福 利 厚 生 費	660,904	1,090,961	-430,057
会 議 費	0	74,641	-74,641
旅 費 交 通 費	103,375	121,613	-18,238
消 耗 品 費	493,697	649,393	-155,696
修 繕 費	2,570,606	15,141,831	-12,571,225
通 信 費	726,968	1,132,879	-405,911
印 刷 費	779,900	425,700	354,200
減 価 償 却 費	16,395,213	15,998,062	397,151
賃 光 費	1,091,958	1,172,828	-80,870
諸 保 険 費	8,192,358	8,067,448	124,910
保 険 費	748,000	1,265,500	-517,500
租 税 公 課 費	1,109,440	1,112,101	-2,661
委 託 費	332,451	333,911	-1,460
雜 費	11,405,710	13,245,343	-1,839,633
管 理 費	335,887	548,224	-212,337
役 員 費	11,168,170	14,020,319	-2,852,149
給 料 費	600,000	600,000	0
福 利 厚 生 費	4,483,123	5,642,331	-1,159,208
会 議 費	424,349	700,469	-276,120
旅 費 交 通 費	1,012	1,201	-189
消 耗 品 費	1,500	39,630	-38,130
修 繕 費	43,985	43,795	190
通 信 費	81,857	1,526,249	-1,444,392
減 価 償 却 費	134,239	177,800	-43,561
賃 光 費	2,279,001	2,253,851	25,150
諸 保 険 費	69,780	77,155	-7,375
保 険 費	1,170,320	1,152,474	17,846
租 税 公 課 費	129,422	129,422	0
委 託 費	213,449	214,389	-940
雜 費	1,255,779	1,281,849	-26,070
管 理 費	280,354	179,704	100,650
経常費用計	72,896,814	118,888,363	-45,991,549
評価損益等調整前当期経常増減額	-20,086,019	-59,756,741	39,670,722
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-20,086,019	-59,756,741	39,670,722

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-20,086,019	-59,756,741	39,670,722
一般正味財産期首残高	3,232,869,185	3,292,625,926	-59,756,741
一般正味財産期末残高	3,212,783,166	3,232,869,185	-20,086,019
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	3,212,783,166	3,232,869,185	-20,086,019

# 正味財産増減計算書内訳表

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	11,203,359	0	7,468,903	18,672,262
基本財産受取利息	11,203,359	0	7,468,903	18,672,262
特定資産運用益	727,125	0	79,109	806,234
助成基金受取利息	727,125	0	0	727,125
運営基金受取利息	0	0	79,109	79,109
事業収益	0	25,258,933	0	25,258,933
貸事務所・住戸受取賃貸料	0	6,432,095	0	6,432,095
駐車場受取賃貸料	0	15,817,100	0	15,817,100
その他施設受取賃貸料	0	3,009,738	0	3,009,738
受取補助金	998,163	614,254	1,035,231	2,647,648
受取地方公共団体補助金	998,163	614,254	1,035,231	2,647,648
受取返納金	3,228,483	0	0	3,228,483
受取大学支援事業返納金	3,228,483	0	0	3,228,483
雑収益	881,785	509,810	805,640	2,197,235
雑収益	881,785	509,810	805,640	2,197,235
経常収益計	17,038,915	26,382,997	9,388,883	52,810,795
(2) 経常費用				
事業費	42,250,579	19,478,065	0	61,728,644
教育研究活動支援金	2,100,000	0	0	2,100,000
国際交流活動支援金	5,360,000	0	0	5,360,000
アワード支援金	1,140,000	0	0	1,140,000
新産業創出支援金	1,200,000	0	0	1,200,000
給料手当	4,322,323	2,659,854	0	6,982,177
福利厚生費	409,133	251,771	0	660,904
会議費	0	0	0	0
旅費	103,375	0	0	103,375
消耗品費	379,430	114,267	0	493,697
修繕費	409,291	2,161,315	0	2,570,606
通信費	520,071	206,897	0	726,968
印刷費	0	779,900	0	779,900
減価償却費	11,395,010	5,000,203	0	16,395,213
賃借料	812,476	279,482	0	1,091,958
光熱水料	5,851,703	2,340,655	0	8,192,358
諸保険料	748,000	0	0	748,000
租税公課	651,945	457,495	0	1,109,440
委託費	205,803	126,648	0	332,451
雜費	6,348,258	5,057,452	0	11,405,710
管理費	293,761	42,126	0	335,887
役員報酬	0	0	11,168,170	11,168,170
給料手当	0	0	600,000	600,000
福利厚生費	0	0	4,483,123	4,483,123
会議費	0	0	424,349	424,349
旅費	0	0	1,012	1,012
消耗品費	0	0	1,500	1,500
修繕費	0	0	43,985	43,985
通信費	0	0	81,857	81,857
減価償却費	0	0	134,239	134,239
賃借料	0	0	2,279,001	2,279,001
光熱水料	0	0	69,780	69,780
保険料	0	0	1,170,320	1,170,320
租税公課	0	0	129,422	129,422
委託費	0	0	213,449	213,449
雜費	0	0	1,255,779	1,255,779
評価損益等調整前当期経常増減額	42,250,579	19,478,065	11,168,170	72,896,814
評価損益等計	-25,211,664	6,904,932	-1,779,287	-20,086,019
当期経常増減額	0	0	0	0
	-25,211,664	6,904,932	-1,779,287	-20,086,019

科 目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	合 計
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	7,000,000	-7,000,000	0	0
当期一般正味財産増減額	-18,211,664	-95,068	-1,779,287	-20,086,019
一般正味財産期首残高	1,935,660,679	259,551,764	1,037,656,742	3,232,869,185
一般正味財産期末残高	1,917,449,015	259,456,696	1,035,877,455	3,212,783,166
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>1,917,449,015</b>	<b>259,456,696</b>	<b>1,035,877,455</b>	<b>3,212,783,166</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券（次の2銘柄を除く）・・・原価法によっている。

満期保有目的の債券（次の2銘柄）・・・・・償却原価法によっている。

・第9回 BPCE 円貨社債（劣後・期限前償還）（9年3ヶ月）

・HSBCホールディングス 第3回円貨社債（10年）

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

建物、機械装置、什器備品及びソフトウェア・・・・定額法によっている。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	1,505,829	0	568,582	937,247
定期預金	0	200,000,000	0	200,000,000
投資有価証券	1,998,494,171	568,582	200,000,000	1,799,062,753
小計	2,000,000,000	200,568,582	200,568,582	2,000,000,000
特定資産				
建物	942,932,205	0	18,674,214	924,257,991
助成基金	120,000,000	10,479,875	479,875	130,000,000
運営基金	115,000,000	0	0	115,000,000
小計	1,177,932,205	10,479,875	19,154,089	1,169,257,991
合計	3,177,932,205	211,048,457	219,722,671	3,169,257,991

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に對応する額)
基本財産				
普通預金	937, 247	—	(937, 247)	—
定期預金	200, 000, 000	—	(200, 000, 000)	—
投資有価証券	1, 799, 062, 753	—	(1, 799, 062, 753)	—
小計	2, 000, 000, 000	—	(2, 000, 000, 000)	—
特定資産				
建物	924, 257, 991	—	(924, 257, 991)	—
助成基金	130, 000, 000	—	(130, 000, 000)	—
運営基金	115, 000, 000	—	(115, 000, 000)	—
小計	1, 169, 257, 991	—	(1, 169, 257, 991)	—
合計	3, 169, 257, 991	—	(3, 169, 257, 991)	—

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額及び資産計上額	減価償却累計額	当期末残高
(建物)	*当初(3, 266, 856, 170)	(2, 072, 980, 372)	**2008年度末(1, 193, 875, 798)
建物	1, 217, 879, 998	293, 622, 007	924, 257, 991
機械装置	42, 797, 942	41, 993, 941	804, 001
什器備品	9, 097, 384	8, 732, 391	364, 993
ソフトウェア	6, 473, 250	6, 473, 248	2
合計	1, 276, 248, 574	350, 821, 587	925, 426, 987

\* 1993年(平成5年)竣工時

\*\* 2008年度(平成20年度)末

## 5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
スタンダードチャータード銀行 第3回円貨債 (10年)	100,000,000	99,900,000	△ 100,000
三菱UFJフィナンシャル・グループ 第5回劣後債 (10年)	100,000,000	100,005,000	5,000
三井住友フィナンシャルグループ 第10回劣後債 (10年)	100,000,000	99,210,000	△ 790,000
三菱UFJフィナンシャル・グループ 第11回劣後債 (10年)	100,000,000	98,786,000	△ 1,214,000
パナソニック 第17回社債 (10年)	100,000,000	99,064,300	△ 935,700
三井住友トラスト・ホールディングス 第4回劣後債 (10年)	100,000,000	98,650,000	△ 1,350,000
関西電力 第511回社債 (10年)	100,000,000	98,264,700	△ 1,735,300
モルガンスタンレー 円建外債 (10年)	100,000,000	96,342,000	△ 3,658,000
モルガンスタンレー円建外債2028.9 (9年11ヶ月)	100,000,000	96,498,800	△ 3,501,200
野村ヨーロッパファイナンス クレジットリンク債 (参照組織：バークシャーハサウェイ) (10年)	100,000,000	96,080,000	△ 3,920,000
東京電力パワーグリッド 第31回社債 (10年)	100,000,000	97,295,000	△ 2,705,000
野村グローバルファイナンス クレジットリンク債 (参照組織：ウェルズファーゴ) (9年11ヶ月)	100,000,000	94,090,000	△ 5,910,000
バークレイズ銀行クレジットリンク債 (参照組織：サウジアラビア) (9年9ヶ月)	100,000,000	93,570,000	△ 6,430,000
北國銀行第2回劣後債 (10年)	100,000,000	99,291,400	△ 708,600
ゴールドマンサックスFCIクレジットリンク債 (参照組織：ブルデンシャルファイナンシャル) (9年10ヶ月)	100,000,000	91,330,000	△ 8,670,000
第9回BPCE円貨社債 (劣後・期限前償還) (9年3ヶ月)	99,062,753	98,424,000	△ 638,753
エスジーイシュアークレジットリンク債 (参照組織： 野村ホールディングス) (9年10ヶ月)	100,000,000	90,369,000	△ 9,631,000
エスジーイシュアークレジットリンク債 (参照組織： フォルクスワーゲンAG) (9年10ヶ月)	100,000,000	91,180,000	△ 8,820,000
以上基本財産	1,799,062,753	1,738,350,200	△ 60,712,553
HSBCホールディングス 第3回円貨社債 (10年)	100,679,823	99,590,000	△ 1,089,823
以上特定資産	100,679,823	99,590,000	△ 1,089,823

## 6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
地方公共団体補助金	奈良県	0	2,647,648	2,647,648	0	—
IT導入補助金	中小企業庁	0	280,800	280,800	0	—

## **附属明細書**

### **1. 基本財産及び特定資産の明細**

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記に記載しているため、附屬明細書での記載を省略している。

### **2. 引当金の明細**

該当なし

# 事業報告

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

公益財団法人 奈良先端科学技術大学院大学支援財団は、国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学が持つ斬新かつ優れた特性および機能が最大限に発揮されるよう、事業計画にもとづき、各種支援事業・地域交流事業に取り組みました。

各事業の実績については、以下のとおりです。

## 1. 大学院大学に対する支援事業

学識経験者で構成する支援事業選考委員会において、令和6年度の大学院大学に対する支援事業の内容を以下のとおり決定し、8,600千円の助成金を交付しました。

### (1) 教育研究活動に対する支援

#### ①研究テーマ助成

3名 1,500千円 (実績3名 1,500千円)

氏名	所属等	研究テーマ
[REDACTED]	先端科学技術研究科 [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]	糖分摂取量低減を補助する嗅覚インター フェースの開発
[REDACTED]	先端科学技術研究科 [REDACTED] [REDACTED]	Production of p(GL-co-3HB) by Ideonella sakaiensis utilizing PET as main carbon source
[REDACTED]	先端科学技術研究科 [REDACTED] [REDACTED]	ドメインスワッピング制御による抗体酵 素の高機能化

#### ②スタートアップ助成

大学院大学からの申請なし

#### ③社会人ドクター修学支援

企業に所属している社会人の修学を促進するため、社会人学生のうち、入学料と授業料を自己負担して博士後期課程に入学する学生に対する支援を行いました。

3名 600千円 (実績3名 600千円)

### (2) 国際交流活動に対する支援

#### ①海外派遣支援

海外の国際会議等において、研究成果を発表する博士後期課程学生を支援しました。

21名 2,027千円（実績20名 1,907千円）

#### ②外国人留学生支援

教育研究の国際化を推進するため、博士後期課程に入学する外国人留学生の中から大学院大学が選考した留学生に対し、渡日旅費と入学料を支援しました。

6名 2,652千円(旅費支援960千円／入学料支援1,692千円)

(実績5名 2,001千円(旅費支援591千円／入学料支援1,410千円)

#### ③大学間交流活動支援

タイ・カセサート大学におけるソフトウェア分析に関する研究開発や香港中文大学との共同研究等の交流活動を行うための渡航費用を支援しました。

8名 681千円（実績8名 681千円）

### (3) 学術研究成果の普及に対する支援

大学院大学からの申請なし

### (4) アワード事業

#### ① N A I S T 最優秀学生賞

学習や研究に対する意欲を高めるため、令和7年3月24日に開催された学位記授与式において、優秀な成績を修めた博士前期課程と博士後期課程の修了生を理事長名で表彰し賞金を授与しました。

(実績) 14名 840千円

情報科学領域	博士前期課程	[REDACTED]、[REDACTED]、[REDACTED]
	博士後期課程	[REDACTED]、[REDACTED]、[REDACTED]
バイオサイエンス領域	博士前期課程	[REDACTED]、[REDACTED]
	博士後期課程	[REDACTED]、[REDACTED]
物質創成科学領域	博士前期課程	[REDACTED]、[REDACTED]
	博士後期課程	[REDACTED]、[REDACTED]

#### ②教員表彰

教育研究活動で優れた業績を挙げた教員に対する表彰に際し、賞金を贈呈しました。

(実績) 2名 300千円

情報科学領域 「ベストティーチング賞」

情報科学領域 [REDACTED]

バイオサイエンス領域 「バイオ領域賞」

対象者なし

物質創成科学領域 「NAIST 学術奨励賞」

物質創成科学領域 [REDACTED]

## 2. 先端科学技術の普及啓発事業

大学院大学が理念の一つとして「社会の発展や文化の創造に向けた学外との密接な連携・協力の推進」を掲げ、積極的に取り組んでいる、いわゆる産学官連携推進の活動のうち、当財団は2つの取り組みに関わり、大学院大学支援事業とは別枠で支援を行いました。

### (1) 産学官交流事業

#### ①奈良先端大発 新産業創出支援事業

大学院大学では「企業や他の大学との共同研究」や「企業からの受託研究」、「企業からの研究者の受け入れ」を行っていますが、これとは別に、大学院大学で生まれた研究成果や技術シーズの実用化・製品化を目指して、関西地区の中小企業やベンチャー企業と連携して研究開発に取り組む場合に、研究開発費用の一部を支援しました。

2件 1,200千円

大学研究者	連携企業	研究開発テーマ
[REDACTED] [REDACTED]	奈良屋本店	奈良漬の製造工程に適応した微生物とその品質への役割の解明
[REDACTED] [REDACTED]	テンフィールズファクトリー(株)	オルニチン高生産酵母を活用した健康系クラフトビールの開発

#### ②奈良先端大産学連携フォーラム

産学官連携活動を推進し社会の発展に寄与するため、大学院大学の先端的で独創的な研究成果を紹介するとともに、大学院大学の研究者と産業界の研究者・技術者との交流を図ることを目的として、大学院大学、公益社団法人関西経済連合会および当財団の共催で37回目となるフォーラムを開催しました。

フォーラムでは、[REDACTED]による開会挨拶、[REDACTED]によるけいはんな万博の紹介の後、大学院大学の3名の教授・特任教授による研究紹介講演等を行いました。

開催日 令和6年7月30日(火)

場 所 奈良先端科学技術大学院大学

研究紹介講演

「強化学習・模倣学習による人作業のロボット自動化」

「XR技術が実現するウェルビーイング」

「発酵・醸造食品のイノベーション～地域貢献から海外展開まで～」

研究室見学

情報・意見交換会

参加者 38名

### 3. 地域交流事業

#### (1) 地域交流

先端科学技術に対する地域住民の関心を高めるとともに、地域住民との相互理解を深めるため、関西文化学術研究都市の高山地区に立地する7施設（大学院大学、参天製薬(株)奈良研究開発センター、上六印刷(株)、(株)Burley plus、(株)芦田製作所、(株)日阪製作所、当財団）で組織する「関西文化学術研究都市高山地区立地施設等連絡協議会」（以下「学研・高山連絡協」という。事務局は当財団）が交流事業を実施したほか、当財団単独でも交流事業を実施しています。

##### ①N A I S T サイエンス塾

大学院大学の教員や学生の指導の下、小学生を対象とした科学実験教室を開催しました（年6回）。

開催月

- 5月 「パンを作る生き物「イースト」のひみつに迫ろう」
- 6月 「対戦ゲームでA I プログラミングに挑戦しよう！」
- 7月 「サイエンス探検隊～電気と磁気の旅～」
- 9月 「ブロックをつかって歩行ロボットをつくってみよう！」
- 10月 「身の回りのフシギを体感しよう！！」
- 1月 「光と海の波の共通点 温めたチーズから見えるもの！」

場 所 高山サイエンスプラザ 研修室

参加者 小学生187人

##### ②夏休み科学実験教室

夏休み期間中に、奈良女子大学附属小学校の中野直人教諭を講師として、小学生を対象とした科学実験教室を開催しました。

開催日 令和6年8月3日(土)

場 所 高山サイエンスプラザ 研修室

内 容 「風で遊ぼう！風で動くおもちゃや車をつくって科学しよう」

参加者 小学生23人

##### ③サイエンスランド

遊びを通じ、幼児等が科学に芽生える場として、園児等の科学体験の集団利用に活用されています。大学院大学の各研究室よりソーラーカーなどの提供を受けたほか、これらの研究室をPRするパネルも併せて掲出しています。

##### ④高山サイエンスタウンフェスティバル

学研・高山連絡協の主催により11月16日(土)に開催しました。高山サイエンスプラザにおいては、音楽会、親子科学教室が開催されるなど、来場者に楽しんでいただける1日となりました。

##### ⑤音楽会

若手音楽家による演奏会（プチコンサート）を実施する実行委員会に対し、学研・高山連絡協

が協賛を行いました（年4回開催）。

開催月 5月、6月、9月、10月

場 所 高山サイエンスプラザ オープンギャラリー

参加者 171人

## （2）情報発信

当財団のホームページ（URL：<http://www.science-plaza.or.jp>）において、催事などのお知らせのほか、財団の業務・財務に関する情報を適時公開しました。

## 4. 高山サイエンスプラザおよび駐車場の運営

高山サイエンスプラザおよび高山サイエンスタウン駐車場の運営状況は以下のとおりです。

### （1）高山サイエンスプラザ見学の状況

地域団体による見学のほか、一般開放しているサイエンスランドなどを自由に利用していただきました。

### （2）レンタルオフィスおよび研究者用住戸の状況

レンタルオフィスについては、令和6年度中に1社が退去し、計3社の入居となりました。

研究者用住戸については、海外からの研究者など延べ33人月の利用がありました。施設設備の不具合のため、令和7年1月より使用を見合わせています。

### （3）会議室・研修室等の利用状況

研修室は「NAISTサイエンス塾」、オープンギャラリーは「プチコンサート」など、地域交流事業の会場として使用しました。さらに、屋上的一部を通信事業者2社に携帯電話無線局設置のため賃貸し、年間を通して使用させました。

### （4）高山サイエンスタウン駐車場の利用状況

駐車場については、1年間を通して定期券は1ヶ月券・3ヶ月券・6ヶ月券合計で約1,400枚、また1回駐車券は約12,300枚の売上となりました。

### （5）施設・設備の維持管理の状況

設備等の老朽化に伴う修繕として、高山サイエンスタウン駐車場入口ゲート機器修繕（工事費1,030千円）、電力量計取替（工事費616千円）、消防設備改修（工事費594千円）等を行いました。

## 5. その他

### （1）理事会の開催

#### ①第60回理事会

開催日 R6年5月14日（火） （定款の規定に基づく決議の省略）

<議案>第39回評議員会の招集

#### ②第61回理事会（通常）

開催日 R6年6月11日（火） 現地開催（高山サイエンスプラザ）及びWeb参加

<議案> (1) 令和5年度事業報告及び収支決算

(2) 第40回評議員会の招集

**③第62回理事会**

開催日 R6年7月22日(月) (定款の規定に基づく決議の省略)

<議案> 第41回評議員会の招集

**④第63回理事会（通常）**

開催日 R7年3月10日(月) 現地開催（高山サイエンスプラザ）及びWeb参加

<議案> (1) 特定資産の取得

(2) 令和7年度事業計画及び収支予算

(3) 特定資産の一部取崩し

**(2) 評議員会の開催**

**①第39回評議員会**

開催日 R6年5月29日(水) (定款の規定に基づく決議の省略)

<議案> (1) 評議員の選任

(2) 理事の選任

**②第40回評議員会（定時）**

開催日 R6年6月26日(水) 現地開催（高山サイエンスプラザ）及びWeb参加

<議案> (1) 令和5年度収支決算

(2) 特定資産の一部取崩し

(3) 理事の選任

**③第41回評議員会**

開催日 R6年7月30日(火) (定款の規定に基づく決議の省略)

<議案> 理事の選任

以上

## 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項については、該当なし。

# 監査報告書

令和7年4月23日

公益財団法人奈良先端科学技術大学院大学支援財団  
理事長 小林 哲也 殿

監事 中村敏彦 

監事 大竹尚輝 

私共、監事は、公益財団法人奈良先端科学技術大学院大学支援財団定款第29条第1項の規定に基づき、令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

私共、監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に務めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方針によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当財団の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上